

質問回答書（1回目）

(1 / 1)

次の工事に関する質問に回答します。

令和元年8月29日

工事名 : R1 阿土 伊島漁港 阿南・伊島 (H30災1) 漁港復旧工事

路線名等 : 伊島漁港

工事箇所 : 阿南市伊島町瀬戸地先

No.	質問内容	回答
1	作業船の回航費（1800 t 吊起重機船）・えい航費（400 t 吊起重機船）について、片道しか計上されておりませんが、往復分の費用が必要と思われます。こちらについては変更計上の対象となりますか。	変更対象となりません。ただし、条件等に変更がある場合は協議によります。
2	1800 t 吊起重機船の回航費・400 t 吊起重機船のえい航費について、2次単価表の回航費条件に記載の「無し、無し、有り」等の表記が具体的にどの項目を示しているか不明です。また2次単価表以下の単価表がないため運転費・損料等項目の算出条件がわかりません。提示願えますか。	見積参考資料の回航費・えい航費条件に記載の表記は、システム上の表記によるものです。回航費・えい航は漁港漁場関係工事積算基準に基づき積算しており、参考までに、各条件は以下のとおりです。 回航費：艀装費計上なし、回航用引船 1隻、引船帰港なし。 えい航：えい航用引船 1隻、引船帰港なし。 運転費・損料等は、漁港漁場関係工事積算基準に記載のとおりです。
3	消波ブロック据付（陸上）（4）他3細別の項目について、1800 t 吊起重機船での1日当たり据付個数が17個（16個）となっております。据付個数の算出の根拠についてご教示ください。	見積参考資料の1日あたりの据付個数は、漁港漁場関係工事積算基準に基づき積算しており、参考までに、各条件は以下のとおりです。 辰己ヤード～伊島の往復平均えい航距離：15.0km 大湊ヤード～伊島の往復平均えい航距離：14.6km 1,800t吊起重機船の最大積載質量：16,000t
4	参考図より400 t 吊起重機船が港内側に航行して据え付ける計画となっております。港内側地形は岩礁が多く、同船舶の港内側への航行は、座礁等の危険が伴うことが予想されます。調査の上、港内側での据付が不可能となり、1800 t 吊起重機船での港外からの据付が必要な場合は変更計上の対象となりますか。	調査結果により、座礁等の恐れがあると判断できる場合は、協議によります。
5	ブロック製作ヤードとして富岡港（辰巳地区）荷積場を計画されていますが、1800 t 吊起重機船は100 t 型消波ブロック積込時の喫水が最低でも5.5m必要となり、同製作ヤードへの直接の進入は不可能と思われます。この場合400 t 吊起重機船による瀨取りが必要となりますが、この場合は変更計上の対象となりますか。	当岸壁は設計水深が-5.5mであり、作業は可能と考えています。ただし、現場条件等により、進入が不可能と判断できる場合は、協議によります。
6	本工事の施工期間に、令和元年10月1日付以降の出荷ベースでの生コンクリート価格の改定が公表されております。このことについて、本工事の契約は徳島県公共工事標準請負契約約款第25条6項に基づき請負代金額の変更を請求できる措置（インフレスライド）の運用対象となりますか。	特定の資材価格について、急激な変動により請負代金額が不相当であると実態から判断できる場合、徳島県公共工事標準請負契約約款第25条第5項（単品スライド条項）の適用対象となります。